

学年だより

学年目標『挑む』

弥富北中学校 第1学年
2015年4月23日(木)NO.5

『中学生になって』の作文①



A組 K. T

小学校を卒業する前に、書写の時間に中学生になってからの目標を決めました。中学校で頑張りたいことはたくさんありましたが、ぼくは“挑戦”という言葉を目標に決めました。小学校生活6年間で全体的にみると、ぼくは積極性が足りなかったと思います。中学校に入ったら、勉強と部活を両立しつつ、さらにもっと上をめざし、失敗をおそれずに何事もチャレンジしていこうと思いました。中学校の生活がとても不安だったし、きちんとこなしていけるかと心配でしたが、いざ中学校へ入学してみると、中学校の教室に座っている実感がないと思いました。これが入学して一番感じたことです。中学生としての自覚をもち、授業だけでなく、部活、清掃、クラスの仲間を大切に、中学校生活の思い出をつくっていききたいです。

中学校の部活は、卓球部に入りたいです。父も弥富北中学校で卓球部に入っていて、とても楽しかったと話していました。中学生のときの部活が一番楽しく、充実していたとも話していました。僕も父のように、一番楽しく充実した部活動を味わってみたいと思います。

僕は、白鳥小学校出身なので同じ学校の人が少ないです。校長先生がおっしゃったように「出会いを大切に」を心に留めて、いろいろな人たちと会話をして一生の友達になれる親友を一人でも多くつくっていききたいです。僕の好きな言葉に「飛ばうと思う者だけが飛べる」という織田信長の言葉があります。何事もプラス思考で取り組んでいきたいと思っています。

B組 K. Y



わたしは、入学式の日、いろいろなことに驚きました。学校の中がとてもきれいだったり、教室がたくさんあったり、一番驚いたのは、生徒がたくさんいたということです。わたしが通っていた白鳥小学校は、1学年50人前後です。この弥富北中学校の1年生は154人なので白鳥小学校の1学年の3倍です。

そう思うと、友達がたくさん増える気がして、とてもうれしかったです。友達が増えたら、これからのキャンプが絶対に楽しくなると思います。なので、わたしの目標は「弥生小の子も白鳥小の子もみんな一生懸命授業をうけたい」です。他にも「先輩たちと仲良く、部活と勉強を両立させる」です。

中学生になり、小学生のときとは違い、先輩ができて、わたしはとても緊張しています。特に先輩や先生に敬語を使えるか心配です。なので、敬語の練習をしています。先輩や友達とは、みんなでやりとげることや、集団活動、部活動などでどんどん仲良くなれたらいいなとわたしは思っています。

C組 H. R



気がつけば、もう中学生。自分とは違う小学校の人もたくさんいて、初めてのことばかりでドキドキの毎日。ぼくが特に頑張りたいことは三つあります。

一つ目はもちろん勉強です。特に数学を頑張りたいです。なにせぼくはもともと算数が苦手で成績もイマイチでした。中学ではきちんと予習復習して、数学が得意、おもしろい、好き!と言えるように頑張ります!

二つ目は部活。入部しようと思っている部活は絶対バスケットボール部。バスケット部に入りたいと思ったきっかけは、井上雄彦先生の作品「SLAM DUNK」です。作品を読んで、絶対にバスケットがしたい!と思い、バスケット部の入部を決意しました。そこまで上手くはないですけど、高校からオファーがくるくらい上手くなるように努力します!!

三つ目は提出物を期日までにきちんと出すということです。ぼくは、五年生、六年生の頃、提出物を全く出さない時期がありました。中学では絶対にそんなことがないように全ての提出物を出すことを常に心がけていきます。中学校生活の一日一日を大事に過ごし、先輩達へのあいさつや敬語を心掛け、規則をきちんと守り、友達をたくさんつくり、友情を深めていき、明るく緊張感をもって、楽しく貴重な中学校生活を送っていききたいです。

それぞれの作文から、中学校生活に対する意気込みを感じますね。みんなで充実した中学校生活にしていきたいと思います!